

クマ被害対策等に関する関係閣僚会議(第3回) 議事録

1 日時

令和8年3月27日(金) 午前8時50分～午前9時00分

2 場所

総理大臣官邸2階小ホール

3 出席者

木原内閣官房長官

石原環境大臣(司会)

松本文部科学大臣、鈴木農林水産大臣、金子国土交通大臣、あかま国家公安委員会委員長、梶原総務大臣政務官、吉田防衛大臣政務官、尾崎内閣官房副長官、佐藤内閣官房副長官、露木内閣官房副長官、阪田内閣官房副長官補、佐伯内閣官房内閣広報官、堀上環境省自然環境局長

4 議事内容

【石原環境大臣】

ただ今より、「クマ被害対策等に関する関係閣僚会議」の第3回会合を開催いたします。それでは議事に入ります。まず私から、クマ被害対策ロードマップ案について、御説明いたします。本年度、クマによる死者数が過去最多となる深刻な事態を受け、昨年11月の本閣僚会議において「クマ被害対策パッケージ」を策定しました。今般、その実効性を一層高めるため、関係省庁と連携し、2030年度までの取組みを「クマ被害対策ロードマップ」案として取りまとめ、目指す将来像として「クマ出没時の対応体制を確立し、人とクマのすみ分けを実現して、国民の命と暮らしを守る社会」を掲げております。その実現に向け、2030年度までに、クマが生息する自治体における緊急的な対応体制の確保、クマの推定個体数と捕獲目標数の明確化、クマが生息する自治体におけるゾーニング管理計画の策定を進めます。ロードマップには各対策の行程に加え、地域ごとの生息状況や、被害状況を踏まえた、捕獲目標数を暫定的に設定しています。昨年被害が多発した東北・関東・中部地方では自然増加率を上回る、個体数の20%を捕獲目標数として、2030年度までに個体数を現在と比べて約65%に減らすことを目指しますが、今後生息調査や個体数推定を行って精緻化を致します。また、北海道でも個体数の削減を目指します。昨年度は被害が少なかった近畿・中国地方では、現状から増やさない管理を進めます。さらに、自治体の体制整備として、2030年度までに、クマの捕獲作業等に従事する自治体職員を約3倍の2,500名に拡充し、はこわなを1万基、クマ撃退スプレー2万本の整備を目標としました。今後は、毎年、関係閣僚会議等を開催し、被害対策の進捗状況や、クマの推定個体数などのデータを活用しながら、対策の見直しや強化を行います。また、昨年秋に出没や被害が増加したことを踏まえ、この春もクマの出没が増加する可能性があり、引き続き十分な警戒と対応が必要です。環境省としては、昨年秋に特にクマ被害が大きかった東北地方を中心に、自治体の人材の確保や育成、はこわなやクマ撃退スプレー等の資機材の整備に向けた支援とともに、生息調査や個体数推定の実施や春期の管理捕獲の拡充などに、重点的に取り組み、被害防止を進めます。今後とも、本ロードマップの着実な実行に向けて関係閣僚の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。私(環境大臣)からの説明は以上です。ただいまの私からの説明について、御意見・御質問がございましたら、よろしくお願

いたします。それでは、クマ被害対策ロードマップを原案どおり決定したいと思いません。最後に、議長の木原内閣官房長官から御発言をいただきます。プレスが入ります。それでは官房長官、お願いいたします。

【木原内閣官房長官】

本日、政府は、新たな「クマ被害対策ロードマップ」を取りまとめました。まずは、環境大臣を始め、関係閣僚の精力的な対応に対し、敬意を表します。本ロードマップは、2030年度までの、地域別の捕獲目標数やクマ捕獲作業に従事する自治体職員数、はこわななどの資機材に関する目標を設定するとともに、昨年末に策定した「クマ被害対策パッケージ」を盛り込んだ施策を、年度ごとに具体化することにより、実効性をより高める趣旨で策定したものです。関係閣僚におかれては、今後、冬眠明けのクマの出没増加が懸念される中で、まずは、春期のクマの捕獲の推進に万全を期すなど、引き続き、強い緊張感をもって積極的に取り組むようお願いいたします。とりわけ、総務大臣には、クマの捕獲作業に従事する職員への支援など、クマの捕獲等に要する経費に対する特別交付税措置を通じて、地域の取組に対する支援を推進してください。文部科学大臣には、学校や登下校時のこどもの安全確保を図るため、学校への専門家等の派遣や登下校見守りボランティアの活動の支援など、こどもの安全確保に向けた取組を着実に進めてください。農林水産大臣には、強固な柵の整備、緩衝帯の設置、農地周辺の捕獲強化、森林の広葉樹林化など、地域での総合的な被害防止対策に取り組んでください。国土交通大臣には、河川の樹木伐採等による出没防止対策に加え、観光地における旅行者の安全対策を進めていただきたいと思います。防衛大臣及び国家公安委員会委員長には、自衛隊OB等や警察OBへの協力要請により、地域の捕獲者確保に努めていただくとともに、国家公安委員会委員長には、警察による住民の安全確保、市街地等における駆除態勢の確保に取り組んでください。環境大臣には、クマの個体数推定による地域ごとの捕獲目標数の精緻化、捕獲者の確保を含む地域の捕獲体制の整備、国立公園における利用者の安全確保対策を徹底していただくとともに、関係閣僚と緊密に連携して、本ロードマップに掲げた施策の進捗を定期的に確認し、必要があれば機動的に見直すようお願い致します。政府としては、国民の安全・安心の確保を最優先とし、「クマ被害対策ロードマップ」にのっとり、引き続き、必要なクマ被害対策を戦略的かつ計画的に実行し、クマ出没時の対応体制の確立と、人とクマのすみ分け実現に向けて全力で取り組んでまいります。

【石原環境大臣】

ありがとうございました。以上をもちまして本日の会議は閉会といたします。

以上